

令和7年度 おおさか環境にやさしい建築賞の審査・選考の流れについて

1 審査・選考の流れ

○第1回委員会

- ・応募者からの資料とプレゼンテーションによる説明
- ・委員による意見交換により、現地確認をおこなう対象建築物を絞り込む。



○第2回委員会（現地審査）

- ・対象建築物の具体的な環境配慮事項について、現地確認を行い、「独創性・先進性」、「調和性・統合性」、「取組姿勢」の3つの視点による審査を行う



事務局から採点表の送付



委員の採点

- ・各委員による採点



○第3回委員会

- ・評価点の合計を参考に、各賞を選考
(必要に応じて、各委員が採点の確認・見直し)

2 審査

設計上の配慮事項等の評価として、建築主及び設計者等から提出された審査用資料やプレゼンテーションおよび現地審査を踏まえ、下記の視点で審査を実施。なお、大阪市建築物環境配慮推進委員会が必要と認める場合は、建築主や設計者等に対して資料の追加等を求めることができることとする。

① 独創性・先進性

- ・創意工夫がなされ独創的な取組があるか
- ・新しい技術が活用され先導的取組があるか

② 調和性・統合性

- ・計画内容は合理的で効率的か
- ・計画内容は、建築デザインにうまく取り込まれているか。また、周辺まちなみとの調和を図っているか

③ 取組姿勢

- ・建築主の環境配慮への積極的な取組姿勢が伺えるか。また、その取組姿勢が、他の建築主の規範となりうるか

上記①～③の各項目について1～5の整数、合計15点満点で評価点をつける。

3 評価点の算出

上記2の評価点に、次の(1)、(2)の評価点を加え、全体の評価点とする。なお、評価点の配点と算定方法は別紙による。

(1) CASBEE 大阪みらいの総合評価結果（BEE 値を指標とする評価）

(2) 大阪市の重点評価項目の評価結果

- ① CO₂削減
- ② みどり・ヒートアイランド対策
- ③ 省エネ対策
 - (i) 建物の断熱性
 - (ii) エネルギー削減
 - (iii) 自然エネルギー直接利用

4 選考

上記3で算出された評価点を踏まえつつ、総合的に考慮して、以下の表彰対象建築物を選考する。ただし、表彰にふさわしい建築物が無い場合は「該当なし」とする。

また、複合用途の建築物がどの部門に属するかについては、原則として最大の床面積を占める用途に従うものとする。

- **大阪市長賞** :最も優秀なもの 1 件
- **部門賞** :大阪市長賞を除く建築物の中から次のとおり選考する
 - ・ **住宅部門賞** :住宅のうち優秀なもの数件
 - ・ **事務所部門賞** :事務所のうち優秀なもの数件
 - ・ **商業施設その他部門賞** :商業施設その他のうち優秀なもの数件

評価点の配点と算定方法

評価項目		評価点(配点)	評価点の算定方法																														
(1) CASBEE 大阪みらいの総合 評価	BEE値	10	BEE 値 / BEE 値 _{max} × 10 点 ※小数点第2位を四捨五入する ※「BEE 値 _{max} 」は、審査用資料の提出のあった中で最も CASBEE 評価の高い 物件の BEE 値とする。																														
(2) 大阪市の重点 評価項目の評価	各評価項目のレベル	5	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">重点評価項目</th> <th rowspan="2">重点評価の レベル</th> <th colspan="2">重み係数</th> </tr> <tr> <th>工場用途 以外</th> <th>工場用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>CO2 削減</td> <td>1.0~5.0</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">省 エ ネ 対 策</td> <td>建物の断熱性</td> <td>1.0~5.0</td> <td>1/9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>エネルギー削減</td> <td>1.0~5.0</td> <td>1/9</td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td>自然エネルギー直接利用</td> <td>2.0~5.0</td> <td>1/9</td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>みどり・ヒートアイランド</td> <td>1.0~5.0</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </tbody> </table> <p>各重点評価項目毎に下記計算を行う ア 自然エネルギー直接利用 (i) 及び(ii)の合計点を求める。 (i) 集合住宅及び学校(小学校、中学校及び高等学校に限る。)の用途部分 (重点評価のレベル-2) / 3.0 × 5 点 × 重み係数 × ((i)の用途の床面積の 合計) / (すべての用途の床面積の合計)</p>		重点評価項目	重点評価の レベル	重み係数		工場用途 以外	工場用途		CO2 削減	1.0~5.0	1/3	1/3	省 エ ネ 対 策	建物の断熱性	1.0~5.0	1/9	—	エネルギー削減	1.0~5.0	1/9	1/6	自然エネルギー直接利用	2.0~5.0	1/9	1/6		みどり・ヒートアイランド	1.0~5.0	1/3	1/3
	重点評価項目	重点評価の レベル	重み係数																														
			工場用途 以外	工場用途																													
	CO2 削減	1.0~5.0	1/3	1/3																													
省 エ ネ 対 策	建物の断熱性	1.0~5.0	1/9	—																													
	エネルギー削減	1.0~5.0	1/9	1/6																													
	自然エネルギー直接利用	2.0~5.0	1/9	1/6																													
	みどり・ヒートアイランド	1.0~5.0	1/3	1/3																													

				(ii) その他の用途部分 (重点評価のレベル-3) / 2.0 × 5 点 × 重み係数 × ((ii)の用途の床面積の合計) / (すべての用途の床面積の合計) イ その他の項目 (重点評価のレベル-1) / 4.0 × 5 点 × 重み係数 5 項目の点数の合計を (2) 大阪市の重点評価項目の評価点とする。(評価点は、四捨五入により小数点以下 1 位までの値に丸める。)
(3) 設計上の配慮事項等の評価	①独創性・先進性	5	15	素晴らしい 5 点 ↑ 4 点 3 点 2 点 普通 1 点
	②調和性・統合性	5		
	③取組姿勢	5		

(注) (1)(2)について、複数届出を一件とみなした場合の評価結果は、各届出済建築物の評価結果の床面積加重平均値(小数点第2位を四捨五入する)とする。

(注) (3) 設計上の配慮事項等の評価についての算定方法について、
 評価の視点の各項目について、各委員の評価点(5段階評価)を相加重平均(小数点第2位を四捨五入)する。
 上記により導かれた評価の視点の各項目の点数を合計し、評価点とする。